

広報 なんこう 南広だより

南但広域行政事務組合

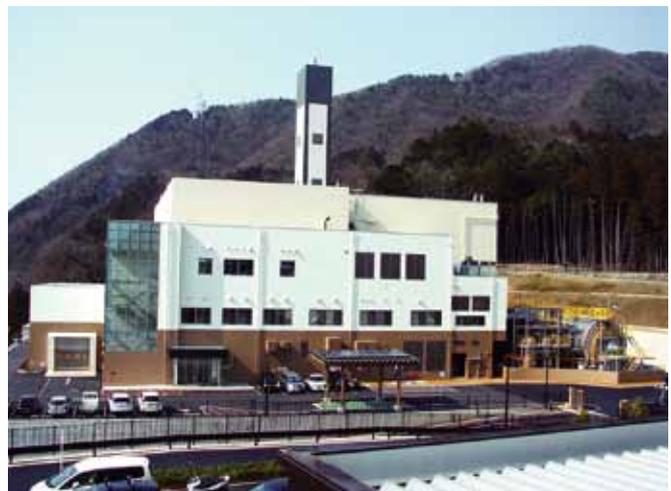
2013
第13号
4月発行



▲新しい高機能指令センターで受け付けます。

組織変更により、養父市消防本部・朝来市消防本部が統合して南但消防本部になりました。

南但クリーンセンターが4月から持込ごみの受け入れを開始しました。



▲養父市と朝来市のごみが処理されます。

構成市の概要（平成25年2月末現在）

市名	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(km ²)
養父市	26,338	9,693	422.78
朝来市	33,211	12,384	402.98
計	59,549	22,077	825.76

☆主な内容☆

- 新年度予算の概要 2
- 南但消防本部が新たにスタート 3
- 組合議会構成・第112回定例会 4
- 南但クリーンセンター 供用開始 ... 5~8

◇発行 南但広域行政事務組合 ◇編集 南但広域行政事務組合 総務係
◇〒667-0126 兵庫県養父市堀畑550 ◇Tel: 079-665-0146 Fax: 079-665-0148



「南広だより」は資源保護のため環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。

新年度予算の概要

平成25年度一般会計予算と特色

歳入

(単位：千円)
1,543,842

分担金及び負担金	1,461,764
使用料及び手数料	44,683
国庫支出金	10,582
財産収入	23,040
繰越金	1,000
諸収入	2,773

歳出

(単位：千円)
1,543,842

議会費	1,180
総務費	66,834
衛生費（ごみ処理関係）	390,016
消防費	1,074,140
教育費（体育施設関係）	9,606
公債費	10
予備費	2,056

歳入

分担金及び負担金は、構成市からの分担金で前年度と比べ17億4千592万8千円(△54.4%)の減額、国庫支出金は、国からの消防設備整備費補助金で、これまでのごみ処理施設整備にかかる交付金は24年度で終了し、前年度と比べ20億1千337万5千円(△99.5%)の大幅な減少となっています。

歳出

衛生費は、ごみ処理施設が平成25年4月、施設供用開始となり、ごみ処理費として高効率原燃料回収施設及びリサイクルセンターの施設運営管理費、3億9千1万6千円、また、25年度から消防が広域化され、南但消防本部が新たにスタートし、常備消防費、消防施設費、合わせて10億7千414万円が新たに予算計上されました。一般会計全体では、前年度と比べ36億9千145万8千円の大幅な減少となっています。

平成25年度特別会計

電算事業特別会計予算

歳入

(単位：千円)
195,600

分担金及び負担金	194,598
財産収入	1
繰越金	1,000
諸収入	1

歳出

(単位：千円)
195,600

総務費（電算管理費）	195,158
公債費	5
予備費	437

休日診療所特別会計予算

歳入

(単位：千円)
13,036

分担金及び負担金	7,100
診療収入	5,392
使用料及び手数料	1
財産収入	41
繰入金	1
繰越金	500
諸収入	1

歳出

(単位：千円)
13,036

衛生費（診療所費）	12,724
予備費	312

農業共済事業特別会計事業計画

(金額・単位：千円)

農作物共済 (水稲・麦)	引受面積	168,1807-㍓
	共済金額	1,117,969
家畜共済	引受頭数	4,140頭
	共済金額	604,000
畑作物共済 (大豆)	引受面積	3,9457-㍓
	共済金額	43,672
園芸施設共済	引受棟数	502棟
	共済金額	66,969
総共済金額		1,832,610

鳥獣害共済基金事業特別会計予算

歳入

(単位：千円)
403

分担金及び負担金	52
県支出金	100
財産収入	1
繰入金	200
諸収入	50

歳出

(単位：千円)
403

共済事業支援金	200
基金積立金	201
公債費	2

南但消防本部が新たにスタート 養父市・朝来市両消防本部が統合

平成25年4月1日、養父市消防本部と朝来市消防本部の2消防本部が統合し「南但消防本部」として消防・防災活動をスタートしました。

この統合については、養父市及び朝来市の消防本部が統合することで得られる様々な効果を最大限に発揮し、現状の課題を克服すると共に消防体制の基盤強化をすることにより、市民サービスの向上を図り住民の皆様の期待と信頼に答えようとするものです。

南但消防本部の管轄区域は養父・朝来市で、管内面積は県内23消防本部中2番目の約826キロ平方メートルで、管内人口は平成24年4月現在で5万9974人です。

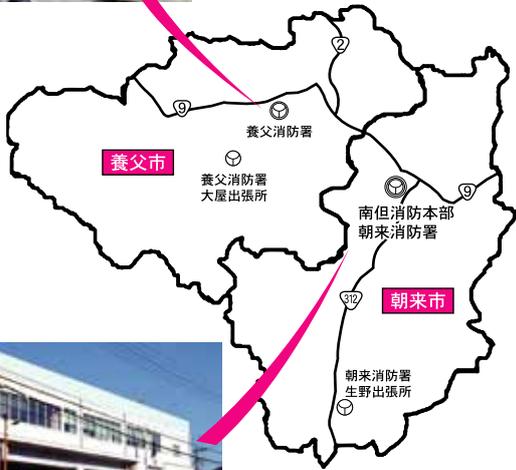
署2出張所とし、これらの位置は広域化前と変化はありません。また、消防職員定数は1人増の98人とし、定員管理計画に基づき安定的な消防力の確保を目指します。

① 119番通報の受信

養父市・朝来市からの全ての119番通報は、朝来市に



消防署の配置は1本部2消防



高機能消防指令センター

設置された消防本部の高機能消防指令センターにつながり、瞬時に通報位置を地図画面上に表示し特定します。この情報を基に災害場所を迅速的確に特定し、管轄署所に出動指令を行います。

事務は、市民の皆様の利便性を損なわないように広域化前と同じで、それぞれの消防署の庶務予防係が処理することとしています。

② 災害対応について

初動時の災害対応は原則として署所対応とし、これまでと大きく変わりませんが、広域化に伴い管理部門や通信部門で生じた余剰職員を現場活動要員として配置することによって、初動時における現場活動の強化を図りました。

消防の広域化は常備消防を対象にするもので、消防団は従来通り1市1団体体制で、消防団事務はそれぞれの市の事務となります。

また、大規模な災害や複数の傷病者が発生した事故などには、消防広域化に伴い消防本部全体の消防部隊数が増加したことによって、消防署の管轄区域を越えて現場対応に必要な部隊を迅速に出動させることが可能となったほか、4階以上の建物火災には、朝来消防署管内へは養父消防署から消防隊1隊を、養父消防署管内の4階以上の建物火災については、朝来消防署から

消防の広域化は常備消防を対象にするもので、消防団は従来通り1市1団体体制で、消防団事務はそれぞれの市の事務となります。

予防業務を統括する予防課は、消防本部に置きますが、消防用設備・危険物の申請、許認可及び届け出などの窓口

予防業務を統括する予防課は、消防本部に置きますが、消防用設備・危険物の申請、許認可及び届け出などの窓口

③ 予防体制について

予防業務を統括する予防課は、消防本部に置きますが、消防用設備・危険物の申請、許認可及び届け出などの窓口

予防業務を統括する予防課は、消防本部に置きますが、消防用設備・危険物の申請、許認可及び届け出などの窓口

予防業務を統括する予防課は、消防本部に置きますが、消防用設備・危険物の申請、許認可及び届け出などの窓口

消防広域化についてご質問のある方は、
南但消防本部管理課
☎(672) 0119
まで、お気軽にお尋ねください。

組合議会構成

(H25.2.7～)

	氏名	議会運営委員会	総務委員会	ごみ特別委員会	
議長	勝地 恒久		委員		養父市議会議長
副議長	上道 正明		委員		朝来市議会議長
議員・監査委員	北尾 行雄	委員	委員	委員	養父市議会
議員	湊本 稔		委員長	委員	朝来市議会
議員	岡田 和之	委員	委員	委員	朝来市議会
議員	中島 利信		委員	委員長	朝来市議会
議員	竹浦 昭男		副委員長	委員	養父市議会
議員	荒田 幹夫		委員	副委員長	養父市議会
議員	西田 雄一	委員長	委員	委員	養父市議会
議員	能見勇八郎	副委員長	委員	委員	朝来市議会
議員	日下 茂		委員	委員	朝来市議会
議員	西村 禮治		委員	委員	養父市議会

南但広域行政事務組合議会議員定数が10名から12名となり、2月1日の朝来市議会、同4日の養父市議会において新たにそれぞれ1名の議員が選任されました。

第112回南但広域行政事務組合議会定例会(平成25年2月)審議結果

南但広域行政事務組合は、平成25年2月7日から2月21日まで、第112回南但広域行政事務組合議会定例会を開催しました。発議第1号及び第2号、議案第1号から議案第48号及び同意第1号まで合わせて51の案件が上程され、46案件が総務委員会に付託され、慎重に審議いただき、すべての案件が原案のとおり可決されました。

又、電算事業について、一般質問がありました。

主な内容は、組合条例の制定・改正、平成24年度補正予算及び平成25年度予算で組合条例では、議会議員定数の増員により「議会委員会条例」の改正、ごみ処理施設整備による「南但ごみ処理施設設置及び管理条例」の制定、消防広域化に伴う「南但消防本部及び消防署設置条例」の制定など37件の整備をするものです。

また、平成24年度補正予算においては、一般会計及び4特別会計(電算事業、休日診療所、農業共済事業、鳥獣害共済基金事業)において、事業実施見込みによるもの、新たな経費の追加、更に事業によっては年度内完了が見込めないことから繰越明許を行うものなどの補正予算が可決されました。

平成25年度の新年度予算については、2ページに記載のとおりです。一般会計では、南但ごみ処理施設管理運営及び25年度からスタートする消防の広域化に伴う予算計上などが主な内容です。



南但クリーンセンター 供用開始



平成22年から建設してきました新しいごみ処理施設「南但クリーンセンター」が、和山町高田地区に完成の運びとなりました。1月23日には、火入式を行い、その後試運転を開始し、養父市及び朝来市の収集ごみの全量を処理しています。また、この4月からは持込ごみの受付を開始しました。



周辺環境調査（1月25日）

施設の稼働前後の周辺環境を比較するため、大気・土壌・水質の調査を行いました。



火入式（1月23日）

焼却設備が完成したので安全な稼働を願い、火入式を行いました。



持込ごみの搬入（4月1日から）

持込ごみの受付を開始しました。クリーンセンター入場後、受付にお越しください。



試運転（2月9日から）

養父市、朝来市のごみの焼却を開始し、点検・調整を行いながら試運転を進めています。

リサイクルセンター

① 回転式破砕機

大型ごみの最初の処理は破砕して小さくすることです。回転式破砕機の入り口は直径 1.4m もあります。破砕機の中では、高速回転しているローターに取り付けられたブレーカーとハンマーにより、処理物を打ち砕いて、小さくします。

様々な工夫と技術

新施設では、これまでの施設になかった処理が行われています。ここでは、たくさん詰まった工夫と技術を紹介します。

ごみは、「廃棄するもの」から「資源として活用するもの」へ



計量器は 30t まで量れます。車はゆっくり乗ってください。

③ 容器包装の処理

分別収集された紙製、プラスチック製の容器包装は、人の手によって異物を取り除いた後、機械で圧縮、梱包を行い、再生業者に引き渡し、資源化を行います。

② 選別する機械

大量の破砕物を再資源化するため、機械を使って様々な方法で選別します。鉄は磁石にくっつけて選別しますが、アルミはアルミ選別機を使います。この機械の磁気ローターを高速回転させると磁気ローター表面の磁界がN極、S極とめまぐるしく入れ替わり、強力な回転磁界が発生します。ここをアルミが通過すると渦電流が発生し、この渦電流と磁界の相互作用によりはね飛ばしアルミを選別します。

高効率原燃料回収施設

⑤ 地震に強い施設

日本では地震が多く発生しますが、近隣では阪神淡路大震災が記憶に残るところです。その大きさの地震でも倒壊しないよう設計されています。また、緊急対応訓練も繰り返し行い、ハードとソフトの両面で備えます。

④ バイオマス発電

これまでどおり指定袋で収集された可燃ごみを発酵に適する生ごみや湿った紙と発酵しないプラスチックに機械的に選別します。このうち、生ごみなどは発酵槽に投入して発酵させ、回収したバイオガスによりエンジンを回転させて、発電を行います。

煙突からの排ガスは、集じん装置や触媒反応装置などを通り、きれいになっています。

煙突から白い煙が出る場合があります。気温が低いとき、または湿度が高くなると水蒸気が水滴になり、白い煙が立ち上がっているように見えるもので、排気されているガスはきれいに浄化されています。



⑦ 排ガスの処理

ごみの焼却により発生した燃焼ガスは、焼却炉内で窒素酸化物が取り除かれ、ガス冷却室、空気予熱器で温度を下げた後、ろ過式集じん器でダイオキシン類、硫黄酸化物、塩化水素が取り除かれます。さらに、触媒反応装置で残ったダイオキシン類が分解され、清浄後、煙突から排出されます。

⑥ 焼却方法

焼却炉の立ち上げ、立ち下げ時に発生するダイオキシンを抑制するため24時間燃焼方式を採用しています。

また、場内で発生する臭気は焼却炉内に吹き込んで分解し、外部に出さない工夫もしています。

ごみから学ぶ環境

リサイクルセンターには、環境問題やごみ問題について学習するための啓発展示コーナーや大型ごみとして収集されたものを修理し、販売する再生品展示コーナーなども併設しています。今後、循環型社会を築いていくためには何が必要なのか考える機会として、南但クリーンセンターの見学をお願いします。

環境学習 ・ 研修

高効率原燃料回収施設

見学ポイント



ごみピット

搬入されたごみを一時貯留し、クレーンで攪拌した後、メタン発酵槽や焼却炉に送ります。迫力ある大きさを実感できます。



中央制御室

システム化された施設を 24 時間常時監視し、安全な運転を行っています。



見学者ホール

焼却炉や排ガス処理設備の一部が見えます。排ガスは複雑に延びる配管を通ってきれいになります。

リサイクルセンター



研修室

研修室では、映像により施設の概要やごみ処理の状況を見ていただきます。



資源ごみの手選別

処理の様子を窓から見るとともに説明用パネルで学習します。



展示コーナー

搬入物がどのようにして資源化されるのかを展示物により学びます。

所要時間と予約方法

見学の所要時間は、高効率原燃料回収施設とリサイクルセンターをあわせて約 2 時間かかります。見学には、予約が必要で、平成 25 年 6 月から受付を予定しております。組合ホームページなどでお知らせしますので、今しばらくお待ちください。

南但クリーンセンター TEL 670-3366